

2024年4月30日

各位

会社名 日本調剤株式会社
代表者名 代表取締役社長 三津原 庸介
社長執行役員
(コード番号 3341 東証プライム)
問合せ先 グループ 加藤 慶
経営企画部長
(TEL. 03-6810-0800)

特別損失の計上、2024年3月期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり2024年3月期の決算にて特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、2023年10月31日に公表いたしました2024年3月期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

①調剤薬局事業に係る減損損失

当社は、調剤薬局事業の固定資産につきまして、事業環境の悪化に伴う収益性の低下等により、将来の回収可能性などを総合的に検討した結果、調剤薬局の一部店舗において32億円の減損損失を特別損失に計上することといたしました。

②医薬品製造販売事業に係る減損損失

連結子会社である長生堂製薬株式会社が保有する固定資産につきまして、生産品目数の縮小及び老朽化に伴う工場の生産機能の縮小と効率化に向けた生産拠点の集約による収益性の低下により、将来の回収可能性などを総合的に検討した結果、11億円の減損損失を特別損失に計上することといたしました。

2. 2024年3月期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 337,100	百万円 17,300	百万円 8,400	百万円 8,300	百万円 4,300	円 銭 143.74
実績値 (B)	340,310	18,251	9,142	9,439	2,553	85.35
増減額 (B-A)	3,210	951	742	1,139	△1,746	△58.39
増減率 (%)	1.0	5.5	8.8	13.7	△40.6	—

3. 差異の理由

2024年3月期累計期間の売上高、EBITDA、営業利益及び経常利益につきましては、調剤薬局事業における処方箋枚数の増加や、医薬品製造販売事業における既存販売品及び新規薬価収載品の堅調な販売、医療従事者派遣・紹介事業における主力である薬剤師の派遣需要の拡大に加えて、全社を挙げたコスト抑制が業績に寄与したこと等により前回発表の連結業績予想を上回る結果となりました。その一方で、調剤薬局事業の一部の店舗及び医薬品製造販売事業の一部の工場において、固定資産の減損損失を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を17億円下回る結果となりました。

2024年3月期（累計）実績につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以 上